

- ◆企画名 新入生を迎えよう！（新入生誘導活動）
 日 程 2016年4月1日（金）
 場 所 関西大学千里山キャンパス
 参加者数 13名（ピア・サポータ12名、研修生1名）
 目 的

4月から新しく関西大学の仲間（peer）となった新入生に対し、誘導活動を行うことで入学式を円滑に進めることに加えて、ピア・コミュニティを知ってもらうきっかけとし、ピア・サポートの普及を行うことを目的とする。

また、ピア・サポータ間の交流を促進し、今後の円滑な活動につなげる。

内 容

主な活動としては、正門を中心とした学内での新入生、保護者に対する式場への誘導、写真撮影の補助、スムーズな人の流れや通路を確保するためのアナウンスを行った。加えて、式場（中央体育館）周辺にて、午前／午後の入学式後に新入生、保護者に対する誘導を行った。誘導はピア・サポータから積極的に呼び掛けを行うことで、案内係であることを明確にし、同時にピア・コミュニティを知ってもらうきっかけとした。

効 果

- ・新しく関大生（の仲間）となった新入生に対して、ジャンパーを着て誘導活動を行ったことで何の団体なのか質問してくれる人もおり、ピア・コミュニティの広報活動につながったと考えられる。
- ・今年度はピア・コミュニティ春合宿をきっかけに他のコミュニティからの参加もあり、ピア・サポータ間の交流が促進された。
- ・新入生だけでなく保護者の方への誘導もスムーズに行うことができ、入学式の円滑な進行に寄与できたと考えられる。

改 善 点

- ・図書館側と時計台側の写真撮影の列がぶつかり、通路が狭くなってしまったことで新入生や保護者の方がスムーズに式場に行くことができなかった。列を整理するためのコーンの位置を再検討する必要があると思われる。
- ・オリエンテーション実行委員のテントの設置位置と、時計台付近の看板での写真撮影で並ぶ人の列がぶつかってしまったので、事前にオリエンテーション実行委員との打ち合わせが必要であると感じられた。
- ・拡声器はやむを得ない場合のみに使用することになっていたが、どのアナウンスを拡声器を用いて行うのかを明確にしていなかったため、それを明確にしておくことで、より活用できたかもしれない。

感 想

直前に看板の位置が変わるといったイレギュラーな事態も起こったが、各ピア・サポータが自分で考えて案内や誘導を実施できた点がよかった。また、昨年度に比べると参加人数も多かったため人員配置もうまくいったと思う。

昨年度の反省を活かし、今年度は案内の開始時間を早め、活動時間を多くとったこともスムーズに活動できたことにつながっていると考えられる。

今年度の活動を通じて、来年度につなげられるような改善点も見つかった。来年度は、今年度の反省点や改善点を活かしつつ、より良い誘導活動を行い、新入生を迎えたい。